

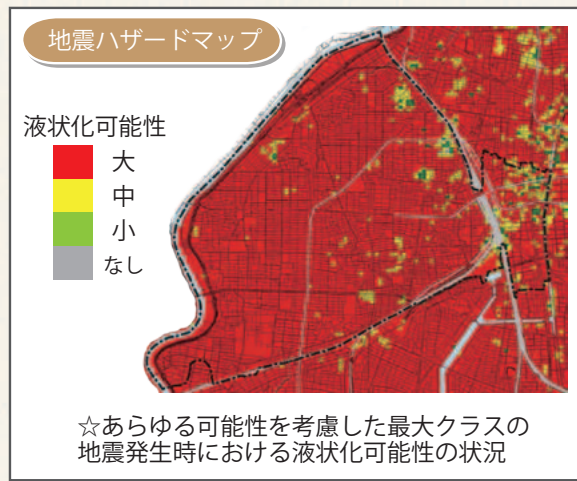
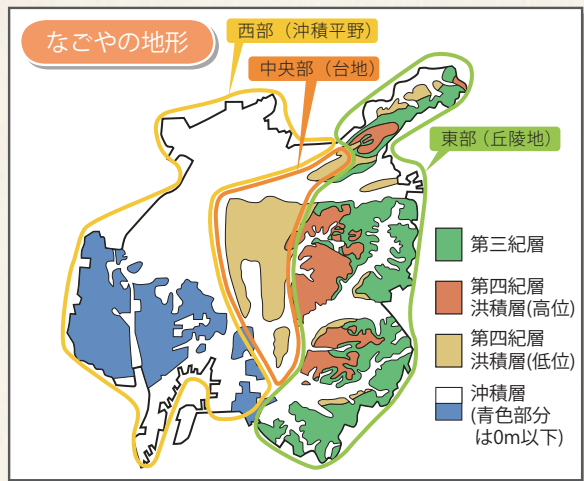
中村区歴史に学ぶ防災

○中村区の成り立ち

名古屋市の西部に位置する中村区は、木曽川水系・庄内川・矢田川水系によって運ばれた礫・砂・シルトなどが堆積して形成された沖積層に覆われています。

中村区の標高は、南西に向かって緩やかに低くなる平坦な地形ですが、自然堤防などの水はけのよい微高地もあり、多くの集落がその上に形成されていました。

地盤の軟弱な沖積平野では、地震発生時の揺れの増幅や長周期地震動を励起し、液状化の危険度が高くなります。



○中村区 災害の歴史年表

※江戸時代以前の月の表記は西暦を基準にしています。

は南海トラフで発生した大地震です。

年 代	主 な で き ご と
1586(天正 13) 年 1 月 18 日	天正地震 。飛騨もしくは尾張を震源とする巨大内陸地震。名古屋の震度は6～7と推定。
1707(宝永 4) 年 10 月 28 日	宝永地震 。名古屋の震度は5～6と推定。名古屋城の建物が大きく損傷。
1854(嘉永 7) 年 12 月 23 日	安政東海地震 。名古屋の震度は5～6と推定。翌24日、 安政南海地震 。名古屋の震度は5と推定。
1891(明治 24) 年 10 月 28 日	濃尾地震 。内陸地震としては国内最大級、震源は岐阜県根尾村。名古屋市の震度は6～7と推定。
1937(昭和 12) 年 10 月 1 日	西区と中区から一部を分離して中村区誕生。面積 12.52 km ² 、人口 108,500 人
1944(昭和 19) 年 12 月 7 日	東南海地震 。震源は紀伊半島沖。名古屋市の震度は5～6と推定。
1945(昭和 20) 年 1 月 13 日	三河地震 。震源は三河湾。名古屋市の震度は4～5と推定。37日前の東南海地震に誘発された地震と推定。
1959(昭和 34) 年 9 月 26 日	伊勢湾台風 。名古屋港の潮位は観測史上最高の5.31mを記録。中村区では死者・行方不明者6名、負傷者708名。
2000(平成 12) 年 9 月 11 日	東海豪雨 。名古屋市の約37%が浸水。中村区では床上浸水133世帯、床下浸水3,316世帯。

南海トラフで起きた地震は約100～150年に1回。ということは、、、。

○地名の由来から読み解く中村区

～地名の由来を見ると、土地の成り立ちや

- ① 稲葉地（いなばじ）・・・稲干場や芝草が多くあり、一面に稲や葉に囲まれていたことから名づけたのであろうとされる。
- ② 乾出（いぬいで）・・・乾出を「かんで」と読み、この辺りが乾田（水はけの良い田）であったことからつけられたとする説と旧下中村の西北（戌亥）の出口にあたることからつけられたとする説がある。
- ③ 岩塚（いわつか）・・・岩のあるスカ（砂地・洲の意）、または七所社の境内にある古墳に由来。
- ④ 黄金通（おうごんどおり）・・・この辺りは稲が良く育ち、一面が稲穂の黄金色で埋め尽くされていたので、「黄金」と言われるようになったという。
- ⑤ 押木田（おしきだ）・・・木田とは自然堤防上の地を指し、土地が高くなっていたことからつけられたという。
- ⑥ 米野（こめの）・・・薦野（こもの）の転声と思われ、薦は茂った草の意味。

～過去に起きた災害を知ること 教訓とし、災害に備えましょう～

中村区は
ほとんどの
地域が赤色
だね



「日吉丸」

マップの見方

- ・ は、1891(明治24)年頃の町村名
- ・ マップ中の番号は、裏面の写真が撮影された位置を示しています。

- 1 濃尾地震
- 1 東海豪雨
- 1～15 伊勢湾台風



地名には
いろいろな
意味があるね。
災害対策の
ヒントに
しよう。

「旭姫」



その歴史がわかります。マップ中にその地名の位置を示しています～

- ⑦ 栄生(さこ)・・・サコとはきれいな砂浜を表すアイヌ語という説と、狭所という意味であるという説がある。
- ⑧ 砂田(すなだ)・・・川の端にあって砂地であったことが推測される。
- ⑨ 高須賀(たかすか)・・・砂が集まった所をス力という。また願成寺の南方に塚がありそれが語源ともいわれている。
- ⑩ 長草(ながくさ)・・・この辺りは葎などが生い茂っていたであろうことからつけられたという。
- ⑪ 泥江(ひじえ)・・・現・名駅四丁目。泥の深い湿地帯であったところからつけられたという。(旧町名)
- ⑫ 日比津(ひびつ)・・・土津、泥津(ともにひじつ)が転声とも言われ、この付近は昔、湿地帯であったことからとされる。
- ⑬ 深川(ふかかわ)・・・古老の話によると大水が出ると、水が引かず、深い川ようになっていたことがよくあったから。

中村区歴史に学ぶ防災

○濃尾地震

1891(明治24)年10月28日午前6時38分に発生した濃尾地震(マグニチュード8.4)は、内陸で発生した過去最大級の地震です。

震源断層から濃尾平野にかけて震度7を記録し、岐阜県・愛知県を中心に死者7,880人、全壊建物164,611棟という甚大な被害をもたらしました。愛知県では2,638人が亡くなりましたが、うち名古屋市では187人(人口約16万5千人)が亡くなりました。

愛知郡(現 名古屋市中村区、中川区等)では震度7を記録し、液状化や大きな揺れにより家屋倒壊、堤防崩壊、橋梁崩壊などの深刻な被害に見舞われました。

愛知県では、39地点での液状化現象が記録されています。織豊村(現 稲葉地学区周辺)では、約1,000か所で噴水、噴砂しました。

●中村区における震度

震度7 愛知郡日比津村、鷹場村、織豊村、岩塚村、柳森村

震度6 名古屋市禰宜町、花車町

① 下米野三丁目 簀野 小屋床下地割れ跡



●明治24年10月29日新聞「新愛知」

「全村家なく食なし 愛知郡日比津村は全村五十戸斗りなるが悉皆倒潰したるも郡役所よりも未だ出張の暇あらず村民は食料にも乏しく困難の至りなりとて本日縣廳へ救助方を歎願に出でたる由」

○東南海地震

東南海地震は、1944(昭和19)年12月7日午後1時36分に紀伊半島南東沖を震源として発生した海溝型地震です。名古屋市内の震度はおおむね5~6を記録し、南部を中心に被害がありました。

戦時報道管制下のため具体的な被害や写真の報道が禁じられました。

○東海豪雨

2000(平成12)年9月11日、台風14号から流れ込んだ気流が秋雨前線を活発化させ、東海地方は記録的な大雨に襲われました。

名古屋市では、日最大1時間降水量97mm、最大日降水量428mm、総降水量566.5mmを記録し、いずれも観測史上最も高い値となりました。

中村区では床上浸水が106棟133世帯、床下浸水が2,643棟3,316世帯の被害をもたらし、12か所の避難所が開設され、避難者数は2,443名におよびました。

① 庄内川新幹線橋梁付近の出水状況



岩塚学区在住の方の体験談 (男性83歳)

東南海地震が起きた時、私は小学校5年生で、父親の薬をもらうため病院へ出かけていました。病院から出て帰ろうとすると、20メートルくらい歩いたところで、突然ガガガーっと体験したことのないような大きな揺れが起きました。とにかく立っていられるような状態ではなく、道にはいつくばっていました。きねこ祭を行う七所社の近くの道でしたが、水路があり、そこから水が道に跳ね上がっていたのを覚えています。近所の家ではお婆さんの家のろうそくが倒れて火が出たので、みんなで慌てて消したということもありました。家が倒壊したという話はあまり聞かなかったです。伊勢湾台風は、多少の浸水はありましたが、ひどい水害は特になかったですね。風雨はすごかったのですが、南に電車が走っていて線路があるから、そこで水がせき止められたのかもしれない。

八社学区在住のご夫妻の体験談 (夫88歳 妻87歳)

親から聞いた話ですが、濃尾地震の時に住んでいた家は屋根がかやぶきの部分と瓦の部分があったのですが、瓦の建物の方が倒れたようです。田んぼの水路から水が溢れていたとも聞きました。

東南海地震の時は、学徒動員で大曾根あたりの織物工場にいました。揺れて色々なものが落ちてきて、外に出るのも一苦勞でした。電車も止まって夜までかかって友達と二人で歩いて帰ってきました。真っ暗でとても怖かったことを覚えています。

伊勢湾台風の時は台風が来る前はとても天気良かったです。縁側でのんびりしてたら台風が来ました。すごい風で瓦が飛んでいました。水はそれほど来なかったです。色々なところで鐘がなっていました。今でも台風が来ると風が来る表は扉や窓をしっかり閉めて、裏を少し開けておきます。表のガラスが割れたりしても風が抜けるように風のとおりの道を作っておきます。昔からの知恵ですね。

○伊勢湾台風

1959(昭和34)年9月26日18時過ぎに、紀伊半島に上陸した台風15号は名古屋市の西側を通過し、記録的な高潮と強烈な暴風雨を伴ない、市内に甚大な被害をもたらしました。

中村区の被害は次のとおりです。

	中村区	名古屋市
死者・行方不明者	6名	1,909名
負傷者	708名	40,528名
全半壊流出家屋	576戸	50,972戸
浸水家屋	9,431戸	67,352戸

①壊滅した中村公園瓢箪池東の松(「中村公園」より)



中村公園では387本の樹木が倒伏し、中でも松が133本根こそぎ倒伏しました。

●伊勢湾台風における小中学校の記録写真

②日比津小学校

集団避難生徒との送別学芸会



③稲葉地小学校



④中村小学校

運動場樹木倒壊



⑤豊臣小学校

避難者との送別会



⑥則武小学校 相撲場



⑦亀島小学校 避難所の様子



⑧新明小学校 南校舎



⑨六反小学校 北校舎



⑩牧野小学校 プール堀倒壊



⑪米野小学校



⑫日吉小学校 校庭の樹木



⑬千成小学校 根こそぎの樹木



⑭柳小学校 西北校舎



⑮岩塚小学校 避難児童集団理髪



本区の被害はすべて風によってもたらされたものである。

しかし区内でも一時的に浸水した。

区内の学校では屋根瓦のほとんどが飛び窓硝子は破れて骨だけ。校舎の破損もひどく、小屋式建物や塀などのおおかたは倒壊のうき目をみた。校庭の樹木も真ん中から折れたのが多い、。。。

「伊勢湾台風災害誌」(名古屋市小中学校 中村区) より

★主な参考資料

「明治24年(1891年)10月28日濃尾地震の震害と震度分布」(愛知県防災会議地震部会)、「今もいきる、濃尾地震」(社団法人中部建設協会)、「新聞記事に見る1891年濃尾地震被害の基礎資料調査」(中京圏地震動観測連絡会)、「昭和19年12月7日東南海地震の震害と震度分布」(愛知県防災会議地震部会)、「伊勢湾台風災害誌」(名古屋市小中学校 中村区)、「伊勢湾台風災害誌」(名古屋市)、「中村公園」(名古屋市公園緑地協会)、「東海豪雨水害に関する記録」(名古屋市)、「忘れない、東海豪雨」(社団法人中部建設協会)、「中村区誌」(中村区制施行50周年記念事業実行委員会)、「なごやの町名」(名古屋市)、「生物多様性2050なごや戦略」(名古屋市)、「東海望楼」(名古屋市)

★各機関の災害資料や地図などを気軽に活用しましょう。

中村図書館 中村区中村町字茶ノ木25番地 中村公園文化プラザ1F ☎411-3651
 鶴舞中央図書館 昭和区鶴舞一丁目1番155号 ☎741-9822(2階)
 名古屋市都市センターまちづくりライブラリー 中区金山町一丁目1番1号 ☎678-2212
 港防災センター 港区港明一丁目12番20号 ☎651-1100

発行・問合せ 中村区役所総務課
 中村区竹橋町36番31号 ☎453-5304
 平成29年3月発行